

地域福祉に係るアンケート

令和元年8月

山梨県

目 次

県政モニターアンケート結果	1
○ 現在の地域での付き合いの程度 (S A)	2
○ 「付き合いがない」理由 (MA)	4
○ 望ましい地域での付き合いの程度 (S A)	5
○ 地域活動や地域の行事への参加 (S A)	6
○ 地域活動や地域の行事に参加しない理由 (MA)	7
○ ボランティアへの参加 (S A)	7
○ ボランティアに参加しない理由 (MA)	8
○ 隣近所で困っている人がいる場合、手助けできること (S A)	9
○ 隣近所の人に手助けして欲しいこと (S A)	10
○ 地域福祉に関する制度等の認知度 (MA)	11
○ 相談窓口 (MA)	12
○ 福祉や介護の仕事に対する考え (S A)	13
○ 福祉に関する情報の入手方法 (MA)	15
○ 地域での暮らしをより良いもの (MA)	15
地域福祉に関する市町村アンケート結果	16
○ 単独の市町村では解決が難しい分野又は複数の市町村が一体となって対応が必要な分野 (MA) .	17

県政モニターアンケート結果

『やまなしの地域福祉に関するアンケート』

(1) 調査時期

令和元年5月22日(水)～6月5日(水)

(2) 調査方法

県政モニターアンケート
郵送及びインターネット

(3) 調査対象

県内に在住している満18歳以上の者から無作為抽出により1年を任期として選出

モニター数：392人(郵送228人、インターネット164人)

(4) 回収結果

回答数：326人(郵送：190人、インターネット：136人)

回答率：83.1%(郵送：83.3%、インターネット：82.9%)

(5) その他

(SA)：単一回答 (Single Answer)

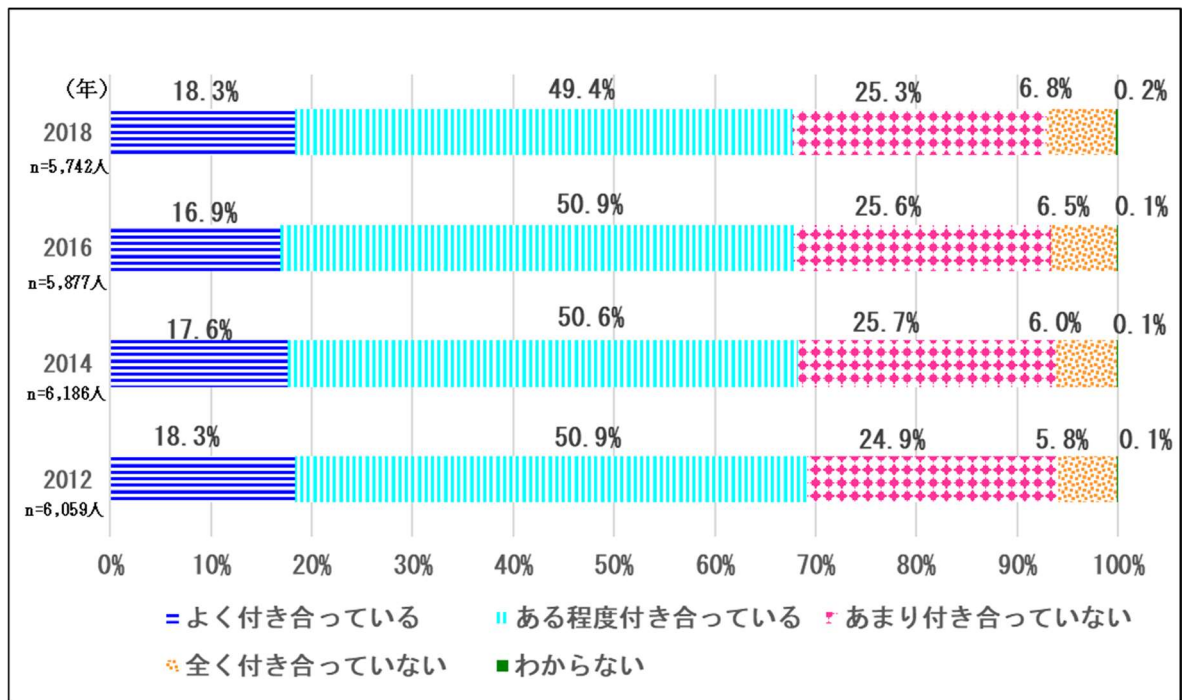
(MA)：複数回答 (Multi Answer)

n：回答者数 (number)



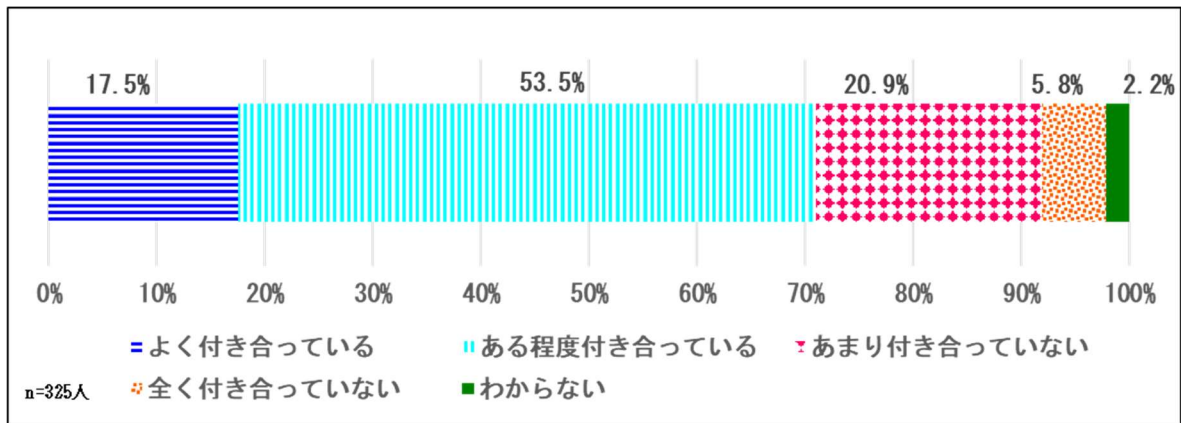
○ 現在の地域での付き合いの程度（SA）

- ・ 内閣府が実施した『社会意識に関する世論調査』によれば、2018（平成30）年では、「付き合っている」とする者の割合が67.7%（「よく付き合っている」（18.3%）＋「ある程度付き合っている」（49.4%））となっています。
「付き合っていない」とする者の割合は、32.1%（「あまり付き合っていない」（25.3%）＋「全く付き合っていない」（6.8%））となっています。
- ・ 一方、本県が調査した結果では、「付き合っている」とする者の割合が71.0%（「よく付き合っている」（17.5%）＋「ある程度付き合っている」（53.5%））となっています。
「付き合っていない」とする者の割合は、26.7%（「あまり付き合っていない」（20.9%）＋「全く付き合っていない」（5.8%））となっています。
- ・ 全国と同様の傾向となっています。



出典：「社会意識に関する世論調査」（内閣府）

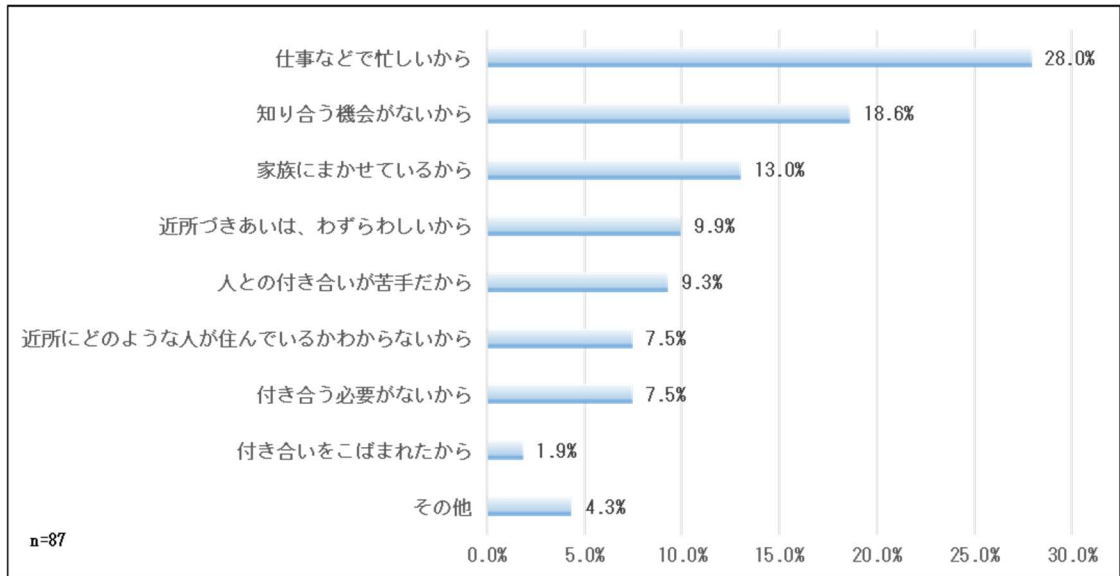
(本県)





○ 「付き合いっていない」理由 (MA)

- ・ 県の調査では、「あまり付き合いっていない」又は「全く付き合いっていない」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「仕事などで忙しいから」(28.0%)が最も多く、次いで「知り合う機会がないから」(18.6%)、「家族にまかせているから」(13.0%)となっています。



○ 望ましい地域での付き合いの程度（SA）

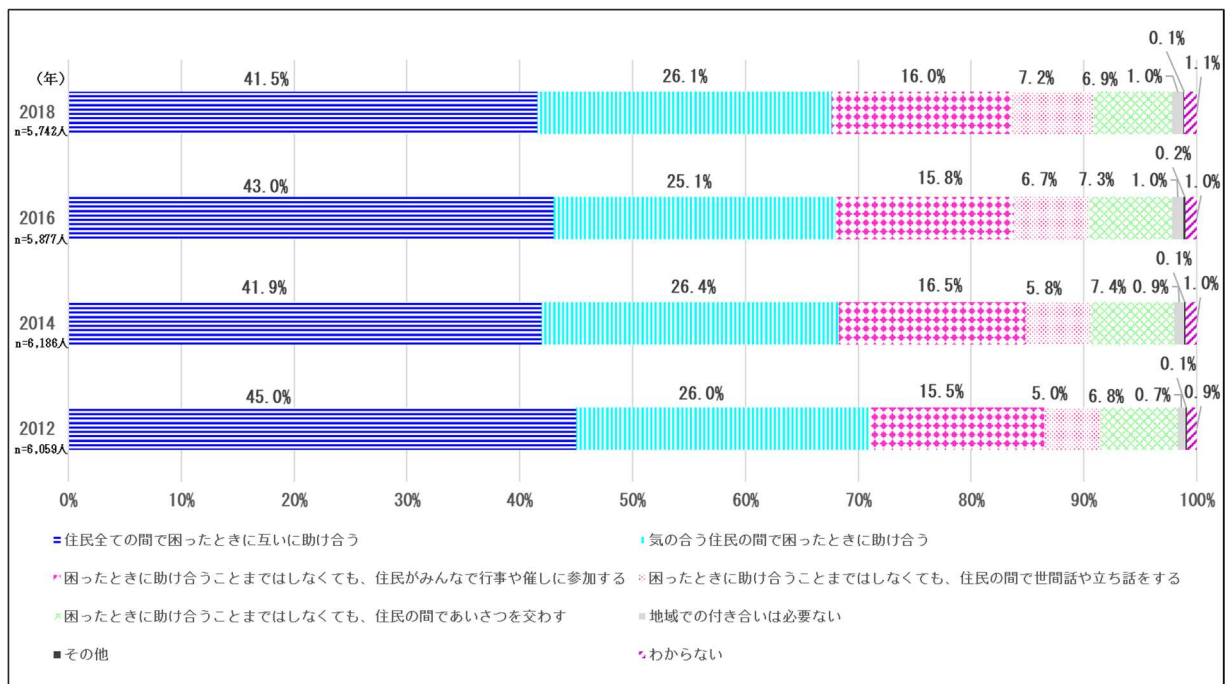
- 内閣府が実施した『社会意識に関する世論調査』によれば、2018（平成30）年では、「困ったときに助け合う」とする者の割合が67.6%（「住民全ての間で困ったときに互いに助け合う」（41.5%）＋「気の合う住民の間で困ったときに助け合う」（26.1%））となっています。

「住民がみんなで行事や催し物に参加する」は16.0%、「世間話や立ち話をする」は7.2%、「あいさつを交わす」は6.9%となっています。

「地域での付き合いは必要ない」と回答した者は1.0%となっています。
- 一方、本県が調査した結果では、「困ったときに助け合う」とする者の割合が65.8%（「住民全ての間で困ったときに互いに助け合う」（38.4%）＋「気の合う住民の間で困ったときに助け合う」（27.4%））となっています。

「住民がみんなで行事や催し物に参加する」は12.3%、「世間話や立ち話をする」は6.3%、「あいさつを交わす」は14.5%となっています。

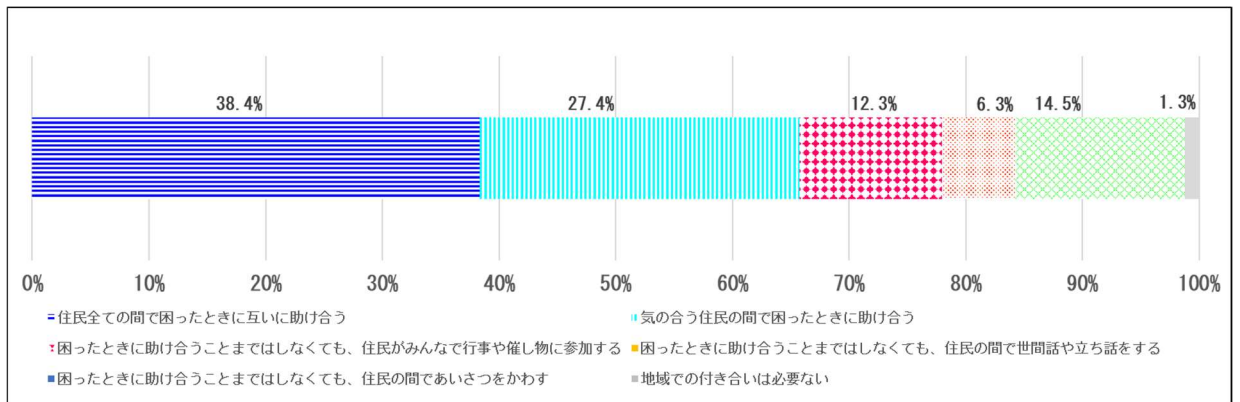
「地域での付き合いは必要ない」と回答した者は1.3%となっています。
- 全国と同様の傾向となっています。



出典：「社会意識に関する世論調査」（内閣府）

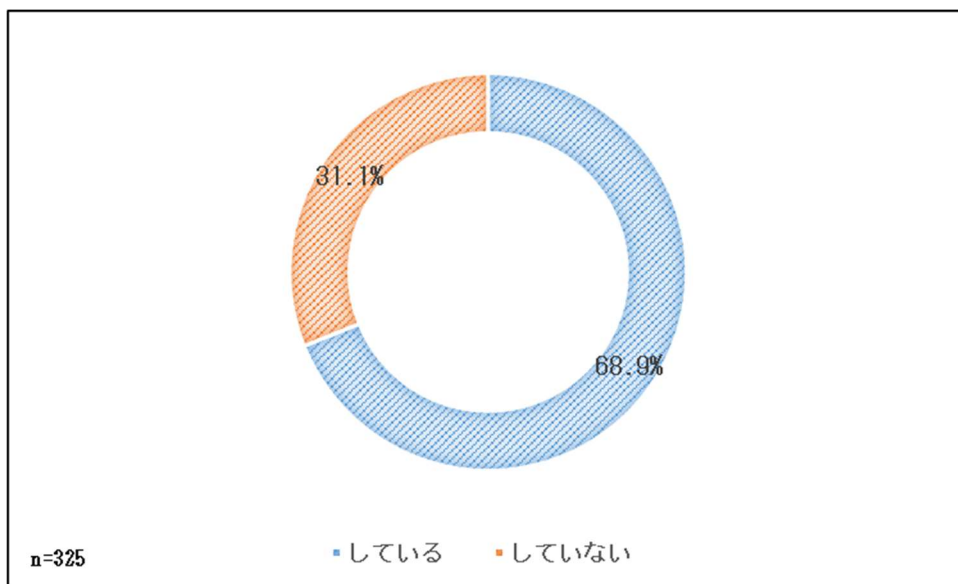


(本県)



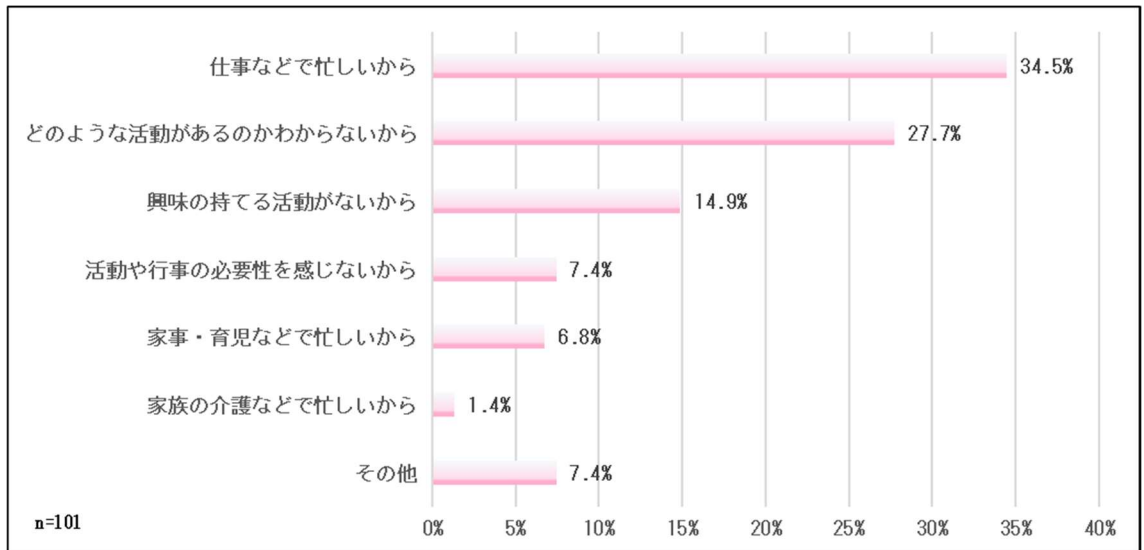
○ 地域活動や地域の行事への参加（SA）

- ・ 「している」が68.9%、「していない」が31.1%となっています。



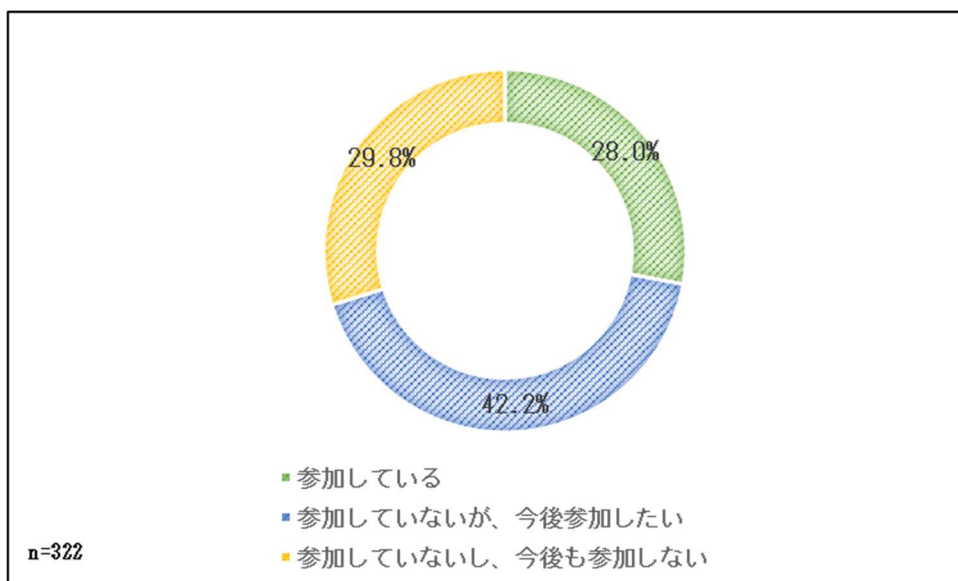
○ 地域活動や地域の行事に参加しない理由（MA）

- ・ 地域活動や地域の行事への参加について、「していない」と答えた方にその理由をたずねたところ、「仕事などで忙しいから」（34.5%）が最も高く、次いで「どのような活動があるのかわからないから」（27.7%）、「興味の持てる活動がないから」（14.9%）の順となっています。



○ ボランティアへの参加（SA）

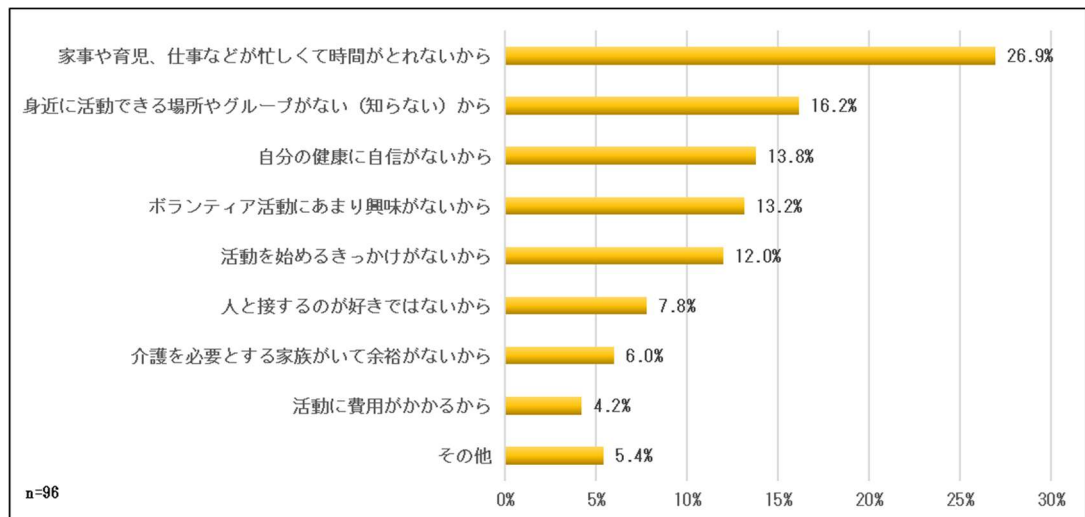
- ・ 「参加している」が28.0%、「参加していないが、今後参加したい」が42.2%、「参加していないし、今後も参加しない」が29.8%となっています。





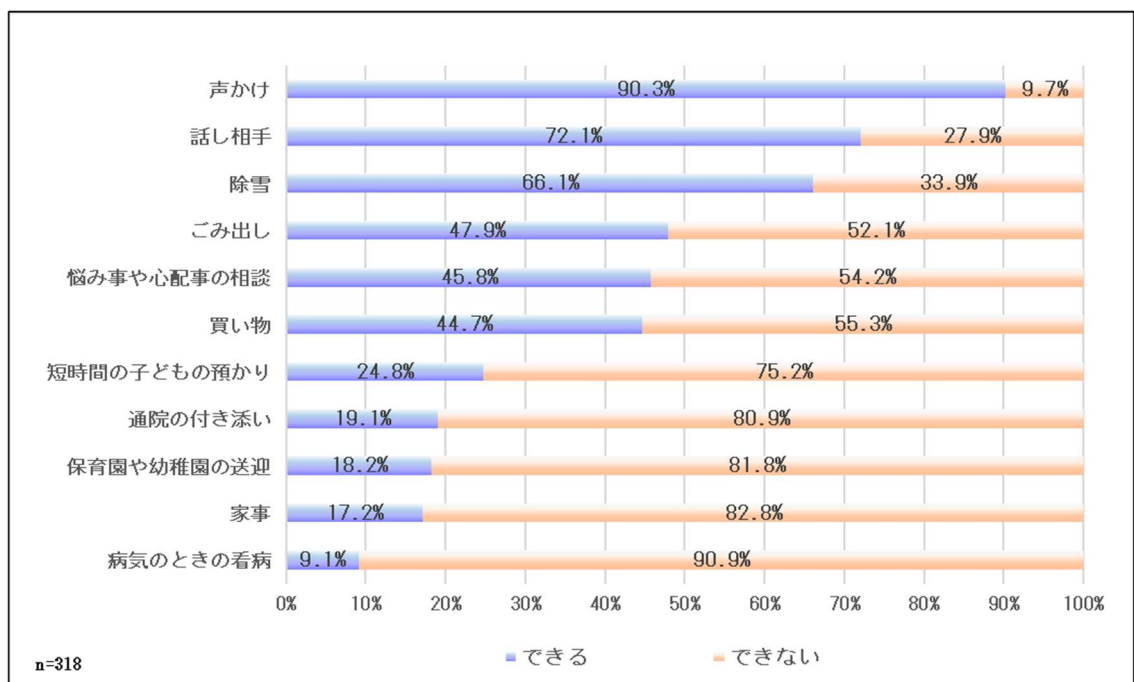
○ ボランティアに参加しない理由 (MA)

- ・ ボランティアへの参加について、「参加していないし、今後も参加しない」と答えた方にその理由をたずねたところ、「家事や育児、仕事などが忙しくて時間がとれないから」(26.9%) が最も高く、次いで「身近に活動できる場所やグループがない(知らない)から」(16.2%)、「自分の健康に自信がないから」(13.8%) の順となっています。



○ 隣近所で困っている人がいる場合、手助けできること（SA）

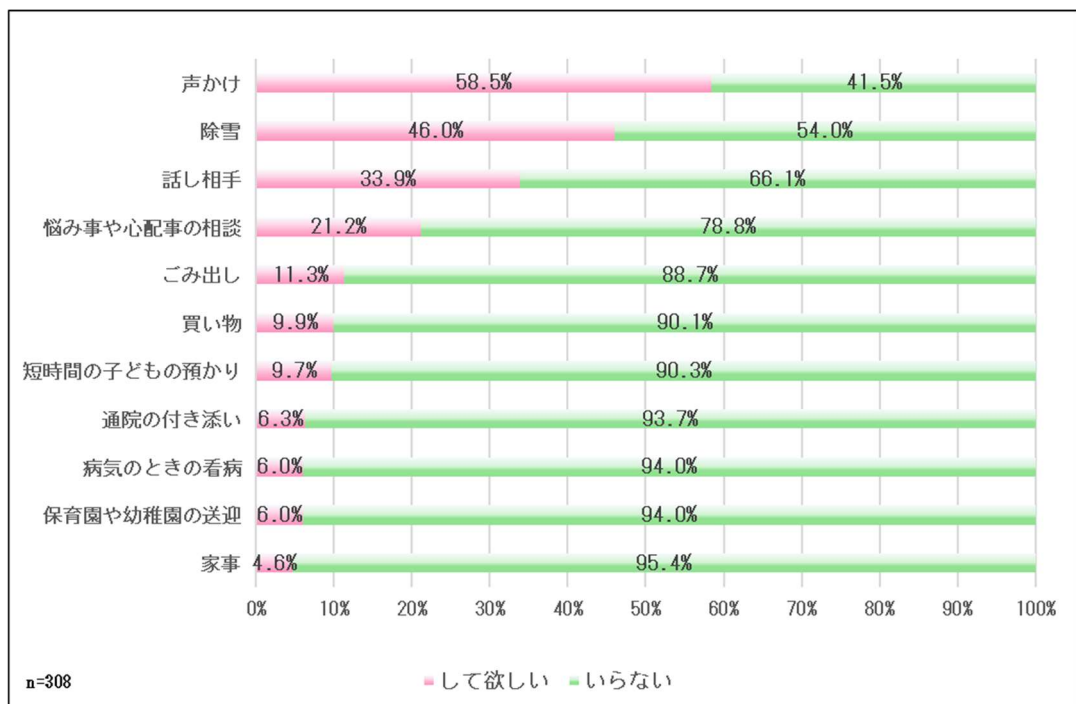
- ・ 「声かけ」について、「できる」とする者の割合が90.3%、「できない」とする者の割合が9.7%となっています。
- ・ 「話し相手」について、「できる」とする者の割合が72.1%、「できない」とする者の割合が27.9%となっています。
- ・ 「除雪」について、「できる」とする者の割合が66.1%、「できない」とする者の割合が33.9%となっています。
- ・ 「ごみ出し」について、「できる」とする者の割合が47.9%、「できない」とする者の割合が52.1%となっています。
- ・ 「悩み事や心配事の相談」について、「できる」とする者の割合が45.8%、「できない」とする者の割合が54.2%となっています。
- ・ 「買い物」について、「できる」とする者の割合が44.7%、「できない」とする者の割合が55.3%となっています。
- ・ 「短時間の子どもの預かり」について、「できる」とする者の割合が24.8%、「できない」とする者の割合が75.2%となっています。
- ・ 「通院の付き添い」について、「できる」とする者の割合が19.1%、「できない」とする者の割合が80.9%となっています。
- ・ 「保育園や幼稚園の送迎」について、「できる」とする者の割合が18.2%、「できない」とする者の割合が81.8%となっています。
- ・ 「家事」について、「できる」とする者の割合が17.2%、「できない」とする者の割合が82.8%となっています。
- ・ 「病気のときの看病」について、「できる」とする者の割合が9.1%、「できない」とする者の割合が90.9%となっています。





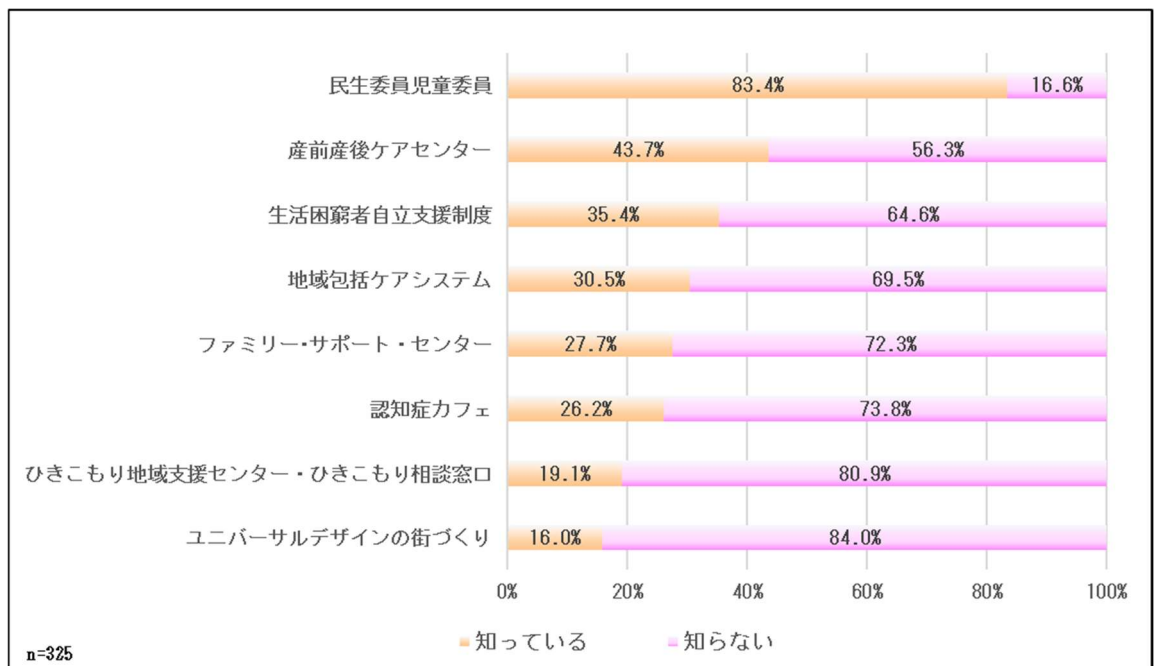
○ 隣近所の人に手助けして欲しいこと（SA）

- ・ 「声かけ」について、「して欲しい」とする者の割合が58.5%、「いない」とする者の割合が41.5%となっています。
- ・ 「除雪」について、「して欲しい」とする者の割合が46.0%、「いない」とする者の割合が54.0%となっています。
- ・ 「話し相手」について、「して欲しい」とする者の割合が33.9%、「いない」とする者の割合が66.1%となっています。
- ・ 「悩み事や心配事の相談」について、「して欲しい」とする者の割合が21.2%、「いない」とする者の割合が78.8%となっています。
- ・ 「ごみ出し」について、「して欲しい」とする者の割合が11.3%、「いない」とする者の割合が88.7%となっています。
- ・ 「買い物」について、「して欲しい」とする者の割合が9.9%、「いない」とする者の割合が90.1%となっています。
- ・ 「短時間の子どもの預かり」について、「して欲しい」とする者の割合が9.7%、「いない」とする者の割合が90.3%となっています。
- ・ 「通院の付き添い」について、「して欲しい」とする者の割合が6.3%、「いない」とする者の割合が93.7%となっています。
- ・ 「病気のときの看病」について、「して欲しい」とする者の割合が6.0%、「いない」とする者の割合が94.0%となっています。
- ・ 「保育園や幼稚園の送迎」について、「して欲しい」とする者の割合が6.0%、「いない」とする者の割合が94.0%となっています。
- ・ 「家事」について、「して欲しい」とする者の割合が4.6%、「いない」とする者の割合が95.4%となっています。



○ 地域福祉に関する制度等の認知度（MA）

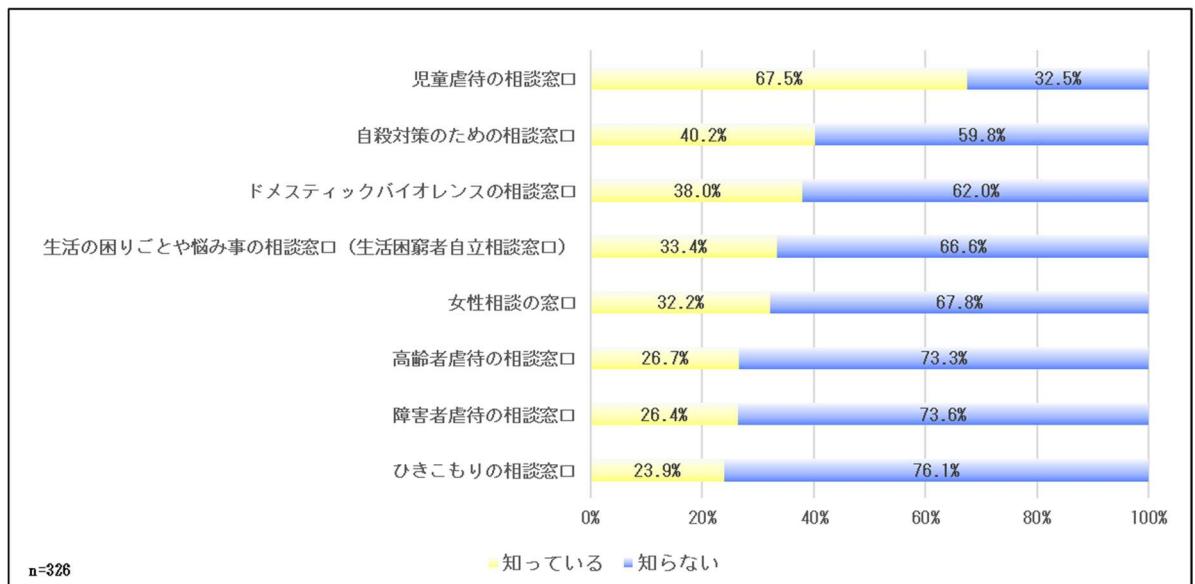
- ・ 「民生委員児童委員」について、「知っている」とする者の割合が 83.4%、「知らない」とする者の割合が 16.6%となっています。
- ・ 「産前産後ケアセンター」について、「知っている」とする者の割合が 43.7%、「知らない」とする者の割合が 56.3%となっています。
- ・ 「生活困窮者自立支援制度」について、「知っている」とする者の割合が 35.4%、「知らない」とする者の割合が 64.6%となっています。
- ・ 「地域包括ケアシステム」について、「知っている」とする者の割合が 30.5%、「知らない」とする者の割合が 69.5%となっています。
- ・ 「ファミリー・サポート・センター」について、「知っている」とする者の割合が 27.7%、「知らない」とする者の割合が 72.3%となっています。
- ・ 「認知症カフェ」について、「知っている」とする者の割合が 26.2%、「知らない」とする者の割合が 73.8%となっています。
- ・ 「ひきこもり地域支援センター・ひきこもり相談窓口」について、「知っている」とする者の割合が 19.1%、「知らない」とする者の割合が 80.9%となっています。
- ・ 「ユニバーサルデザインの街づくり」について、「知っている」とする者の割合が 16.0%、「知らない」とする者の割合が 84.0%となっています。





○ 相談窓口（MA）

- ・ 「児童虐待の相談窓口」について、「知っている」とする者の割合が 67.5%、「知らない」とする者の割合が 32.5%となっています。
- ・ 「自殺対策のための相談窓口」について、「知っている」とする者の割合が 40.2%、「知らない」とする者の割合が 59.8%となっています。
- ・ 「ドメスティックバイオレンスの相談窓口」について、「知っている」とする者の割合が 38.0%、「知らない」とする者の割合が 62.0%となっています。
- ・ 「生活の困りごとや悩み事の相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」について、「知っている」とする者の割合が 33.4%、「知らない」とする者の割合が 66.6%となっています。
- ・ 「女性相談の窓口」について、「知っている」とする者の割合が 32.2%、「知らない」とする者の割合が 67.8%となっています。
- ・ 「高齢者虐待の相談窓口」について、「知っている」とする者の割合が 26.7%、「知らない」とする者の割合が 73.3%となっています。
- ・ 「障害者虐待の相談窓口」について、「知っている」とする者の割合が 26.4%、「知らない」とする者の割合が 73.6%となっています。
- ・ 「ひきこもりの相談窓口」について、「知っている」とする者の割合が 23.9%、「知らない」とする者の割合が 76.1%となっています。

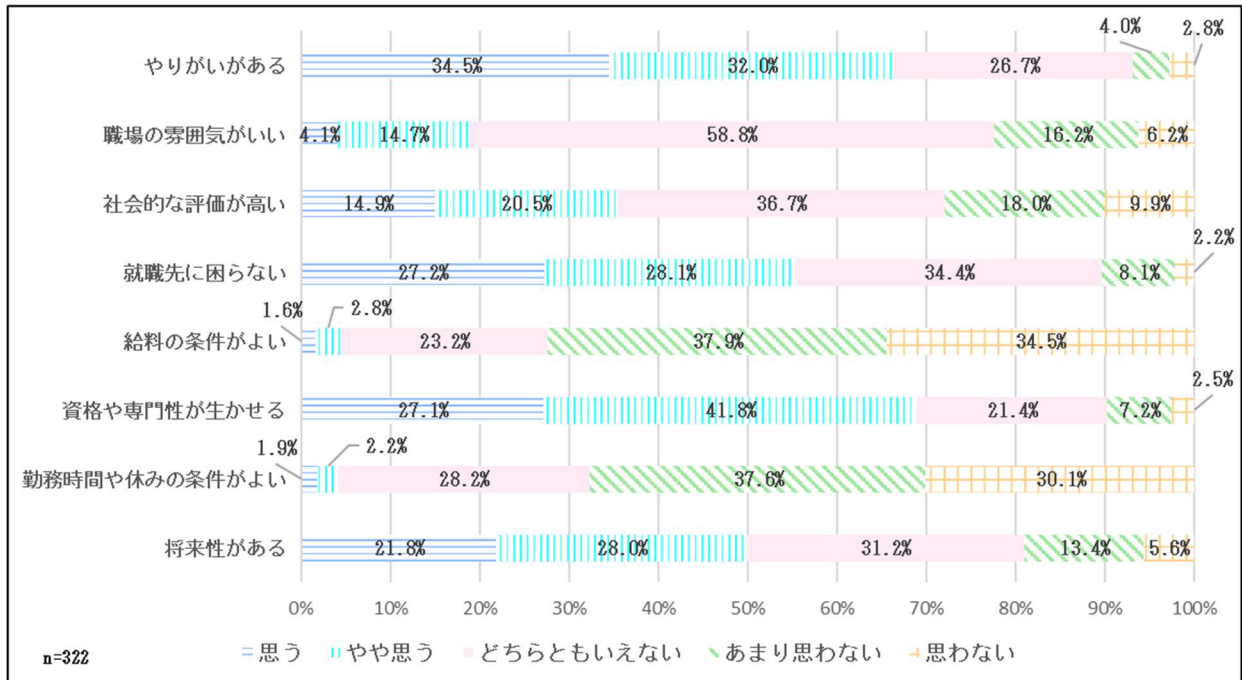


○ 福祉や介護の仕事に対する考え（SA）

- ・ 「やいりがある」について、「思う」とする者の割合が 66.5%（「思う」（34.5%）＋「やや思う」（32.0%））となっています。
「思わない」とする者の割合が 6.8%（「あまり思わない」（4.0%）＋「思わない」（2.8%））となっています。
「どちらともいえない」とする者の割合は 26.7%となっています。
- ・ 「職場の雰囲気がいい」について、「思う」とする者の割合が 18.8%（「思う」（4.1%）＋「やや思う」（14.7%））となっています。
「思わない」とする者の割合が 22.4%（「あまり思わない」（16.2%）＋「思わない」（6.2%））となっています。
「どちらともいえない」とする者の割合は 58.8%となっています。
- ・ 「社会的な評価が高い」について、「思う」とする者の割合が 35.4%（「思う」（14.9%）＋「やや思う」（20.5%））となっています。
「思わない」とする者の割合が 27.9%（「あまり思わない」（18.0%）＋「思わない」（9.9%））となっています。
「どちらともいえない」とする者の割合は 36.7%となっています。
- ・ 「就職先に困らない」について、「思う」とする者の割合が 55.3%（「思う」（27.2%）＋「やや思う」（28.1%））となっています。
「思わない」とする者の割合が 10.3%（「あまり思わない」（8.1%）＋「思わない」（2.2%））となっています。
「どちらともいえない」とする者の割合は 34.4%となっています。
- ・ 「給料の条件がよい」について、「思う」とする者の割合が 4.4%（「思う」（1.6%）＋「やや思う」（2.8%））となっています。
「思わない」とする者の割合が 72.4%（「あまり思わない」（37.9%）＋「思わない」（34.5%））となっています。
「どちらともいえない」とする者の割合は 23.2%となっています。
- ・ 「資格や専門性が生かせる」について、「思う」とする者の割合が 68.9%（「思う」（27.1%）＋「やや思う」（41.8%））となっています。
「思わない」とする者の割合が 9.7%（「あまり思わない」（7.2%）＋「思わない」（2.5%））となっています。
「どちらともいえない」とする者の割合は 21.4%となっています。
- ・ 「勤務時間や休みの条件がよい」について、「思う」とする者の割合が 4.1%（「思う」（1.9%）＋「やや思う」（2.2%））となっています。
「思わない」とする者の割合が 67.7%（「あまり思わない」（37.6%）＋「思わない」（30.1%））となっています。
「どちらともいえない」とする者の割合は 28.2%となっています。

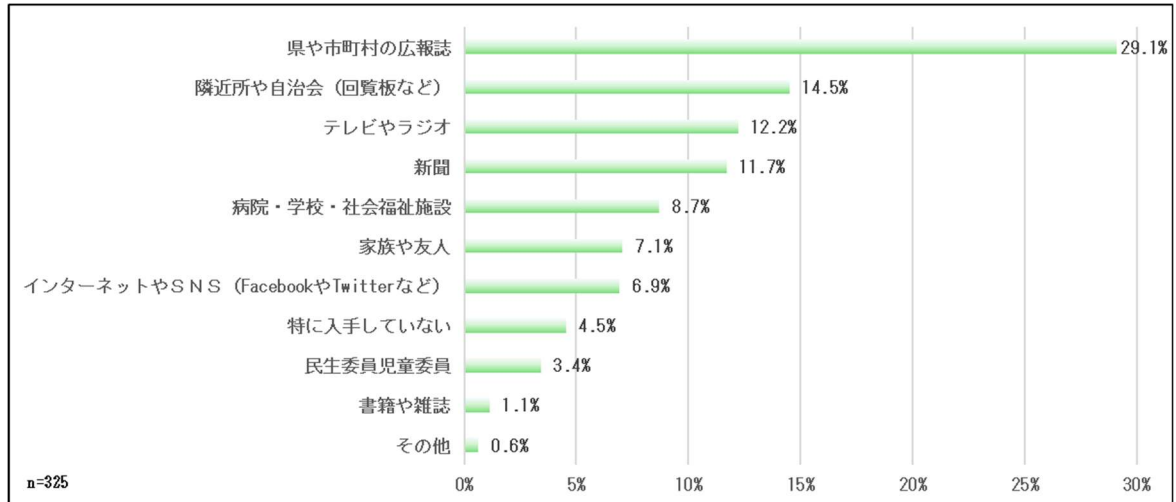


- ・ 「将来性がある」について、「思う」とする者の割合が49.8%（「思う」（21.8%）＋「やや思う」（28.0%））となっています。
「思わない」とする者の割合が19.0%（「あまり思わない」（13.4%）＋「思わない」（5.6%））となっています。
「どちらともいえない」とする者の割合は31.2%となっています。



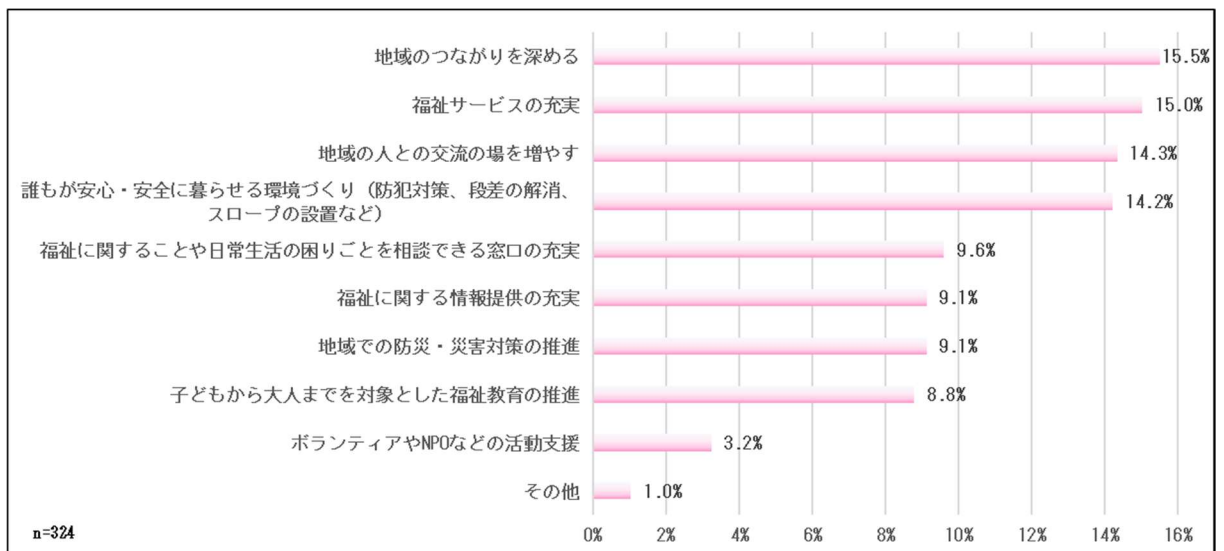
○ 福祉に関する情報の入手方法 (MA)

- ・ 「県や市町村の広報誌」(29.1%) が最も多く、次いで「隣近所や自治会(回覧板)など」(14.5%)、「テレビやラジオ」(12.2%) となっています。



○ 地域での暮らしをより良いもの (MA)

- ・ 「地域のつながりを深める」(15.5%) が最も多く、次いで「福祉サービスの充実」(15.0%)、「地域の人との交流の場を増やす」(14.3%)、となっています。





地域福祉に関する市町村アンケート結果

『地域福祉に関する市町村アンケート』

(1) 調査時期

令和元年6月13日(木) ～ 6月28日(金)

(2) 調査対象

市町村

(3) 調査方法

電子メール

(4) 回収結果

27市町村

(5) その他

(SA) : 単一回答 (Single Answer)

(MA) : 複数回答 (Multi Answer)

n : 回答者数 (number)

- 単独の市町村では解決が難しい分野又は複数の市町村が一体となって対応が必要な分野（MA）
 - ・ 「医療的ケア児への支援」（13市町村）が最も多く、次いで「障害者（身体・知的・精神）支援」（11市町村）、「ひきこもり支援」（8市町村）となっています。

